

臨時 りんご生産情報

JA つがる弘前
大鰐地区営農係

3月～4月上旬の高温傾向により生態が早まり、平年に比べふじの展葉日は11日程度早く進んでいる状況です。
また、この情報誌作成時現在の気象庁の天気予報では、4月14日頃にまとまった降雨がある予報となっており、黒星病の感染が懸念されます。下記を参考にし、防除に努めましょう。

1. ふじの生態状況と今後の予想

() は予想日です。

観測地点	年	発芽日	ふじ展葉日	開花日
森山	本年	3/30	4/7	(4/29～5/2)
駒木・古懸	本年	4/2	(4/11)	(5/4～5/6)
りんご 試験場	本年	3/30	4/7	(4/29～5/2)
	平年	4/7	4/18	5/7
	前年	3/29	4/16	5/7

2. 散布日について

開花直前に散布タイミングが合うよう、今後の気象状況や開花予想を随時確認しながら特別散布を行うようにしましょう。
また、薬剤散布は、前回から10日以内に散布するようにしましょう。

平場 (生態の早いところ・玉林畑など)

* 天気に注意して、雨に当たらないよう散布をしましょう。

第1回目 (展葉1週間後頃)	4月12日～	15日頃	
第2回目 (特別散布)	4月20日～	23日頃	前回から10日以内
第3回目 (開花直前)	4月29日～5月	2日頃	前回から10日以内

中間～山手

* 天気予報での14日頃のまとまった雨により、黒星病に感染する恐れがありますので、降雨から3日程度以内に散布するようにしましょう。

第1回目 (展葉1週間後頃)	4月15日～	17日頃	
第2回目 (特別散布)	4月23日～	25日頃	前回から10日以内
第3回目 (開花直前)	5月2日～	4日頃	前回から10日以内

3. 散布薬剤

回数 散布量	散布 時期	対象 病害虫	基準薬剤					防除の要点
			薬剤名と 混用順序	倍数	1,000ℓ当	収穫前 日数	使用 回数	
1 300ℓ以上	ふじの展葉 1週間後頃	モニア病、黒星病 腐らん病、リンゴハダニ ハマキムシ類、 クワコナカイガラムシ キンモン、ギンモン	精製マシン油(97) ダズバンDF ベフラン液剤	200 3,000 1,000	5ℓ 167g×2 500ml×2	展葉期 45日 展葉期	— 1回 開花前 3回	① 近年、リンゴハダニが多くなってきましたのでゆっくり、丁寧に散布しましょう。 ② 前年にクワコナカイガラムシが多かったところはアプロードF 1,000倍も使用しましょう。 ③ キンモン、ギンモンの発生が多いところは、ノーマルト乳剤4,000倍も使用しましょう。
特別散布 2 300ℓ以上	前回から10日以内	黒星病、腐らん病 モニア病	展着剤 ベフラン液剤		1,000 500ml×2	展葉期	開花前 3回	
3 320ℓ以上	ふじの開花直前 前回から10日以内	黒星病、モニア病 腐らん病、うどんこ病 ミダレカクモン	展着剤 カナメF バイオマックスDF	4,000 2,000	250ml×1 500g×1	前日 前日	1回 —	

- 展葉初期から降雨があると黒星病に感染する恐れがあります。
6月いっぱいまでは、散布間隔は10日以内とし、ゆっくり、ていねいに散布しましょう。
- 霧、朝露などで葉が濡れている場合は乾いてから散布しましょう。
- 降雨後の散布では、スピードスプレーヤーの運転には特に注意をし、事故ケガの無いようにしましょう。